

## ZAPテープによる防食施工要領

三井住友金属鉱山伸銅(株)

工程	内容	施工要領	注意事項																								
1. 下地処理 ・劣化度合の見極め ・錆を除去、凹凸部の調整 ・油分の除去	下地の劣化度合い <table><tr><th>劣化度</th><th>劣化状況</th><th>素地調整</th></tr><tr><td>レベルⅠ</td><td>全面に発錆が激しく、塗膜に割れ膨れ剥がれが発生</td><td>ケレン 1・2種</td></tr><tr><td>レベルⅡ</td><td>部分的に点錆、塗膜の割れ膨れ剥がれが発生。</td><td>ケレン 2・3種</td></tr><tr><td>レベルⅢ</td><td>錆の発生が殆どなく塗装の変色程度。</td><td>ケレン 3種</td></tr></table>	劣化度	劣化状況	素地調整	レベルⅠ	全面に発錆が激しく、塗膜に割れ膨れ剥がれが発生	ケレン 1・2種	レベルⅡ	部分的に点錆、塗膜の割れ膨れ剥がれが発生。	ケレン 2・3種	レベルⅢ	錆の発生が殆どなく塗装の変色程度。	ケレン 3種	素地調整の程度 <table><tr><th>ケレン</th><th>調整程度</th><th>作業方法</th></tr><tr><td>Ⅰ</td><td>黒皮・錆・塗膜を除去し清潔な鋼材面とする。</td><td>ブラスト法</td></tr><tr><td>Ⅱ</td><td>錆・塗膜を除去し、鋼材面を露出させる。但し窪み部分には錆や塗膜が残存する。</td><td>動力工具 手動工具 併用</td></tr><tr><td>Ⅲ</td><td>錆・塗膜を除去し、鋼材面を露出させる。但し劣化していない活膜は残す。</td><td>動力工具 手動工具 併用</td></tr></table>	ケレン	調整程度	作業方法	Ⅰ	黒皮・錆・塗膜を除去し清潔な鋼材面とする。	ブラスト法	Ⅱ	錆・塗膜を除去し、鋼材面を露出させる。但し窪み部分には錆や塗膜が残存する。	動力工具 手動工具 併用	Ⅲ	錆・塗膜を除去し、鋼材面を露出させる。但し劣化していない活膜は残す。	動力工具 手動工具 併用	・ケレン後はウェス・刷毛を用いていごみを除去。 ・下地処理後24時間以内に貼付作業を実施。 ・活膜は残してもよい。但し、犠牲防食効果を発揮させる為、鋼材素地を出した部分を作る。 ・油分は必ず除去する。 ・水分は必ず除去する。
劣化度	劣化状況	素地調整																									
レベルⅠ	全面に発錆が激しく、塗膜に割れ膨れ剥がれが発生	ケレン 1・2種																									
レベルⅡ	部分的に点錆、塗膜の割れ膨れ剥がれが発生。	ケレン 2・3種																									
レベルⅢ	錆の発生が殆どなく塗装の変色程度。	ケレン 3種																									
ケレン	調整程度	作業方法																									
Ⅰ	黒皮・錆・塗膜を除去し清潔な鋼材面とする。	ブラスト法																									
Ⅱ	錆・塗膜を除去し、鋼材面を露出させる。但し窪み部分には錆や塗膜が残存する。	動力工具 手動工具 併用																									
Ⅲ	錆・塗膜を除去し、鋼材面を露出させる。但し劣化していない活膜は残す。	動力工具 手動工具 併用																									
2. テープ貼付 ・治工具 ハサミ/ヘラ ・貼付方法	・ZAPテープを必要長ハサミで切断する。 ・施工防食箇所にZAPテープを貼付する。 ・貼付後、シワ・フクレが生じた箇所はヘラで押押し隙間を無くす。	<table><tr><th></th><th>貼付面/方法</th><th>重ね代</th><th>貼付力</th></tr><tr><td>一般施工</td><td>・防食箇所、全面に貼付覆う。 ・鉛直配管は下から上に貼る。</td><td>円周方向:20mm 長手方向:20mm (最低10mm)</td><td>出来るだけ引張力を付加する。</td></tr><tr><td>地際部</td><td>地上地中共に同量(幅)を均等に貼付る。</td><td>同上</td><td>同上</td></tr></table>		貼付面/方法	重ね代	貼付力	一般施工	・防食箇所、全面に貼付覆う。 ・鉛直配管は下から上に貼る。	円周方向:20mm 長手方向:20mm (最低10mm)	出来るだけ引張力を付加する。	地際部	地上地中共に同量(幅)を均等に貼付る。	同上	同上	・貼付け面に結露が無き事。 ・被着面にゴミの付着無き事。 ・深い孔食がある場合はZAPペーストで埋めてからテープの貼付を行う。 ・状況に応じてZAPペーストとの併用を推奨。												
	貼付面/方法	重ね代	貼付力																								
一般施工	・防食箇所、全面に貼付覆う。 ・鉛直配管は下から上に貼る。	円周方向:20mm 長手方向:20mm (最低10mm)	出来るだけ引張力を付加する。																								
地際部	地上地中共に同量(幅)を均等に貼付る。	同上	同上																								
3. 他 ・環境 ・留意点	・作業環境気温5～40℃。 ・構造物の強度補強にはなりません。 ・止水防水目的にはなりません。		・水中に常時浸漬する箇所、または干満帯は適用不可。 ・防食対象物が高温環境(60℃以上)になる場合。																								